

11701自動車整備業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	10~11	整備工場内で、トレーラーの下にもぐり、部品を交換する作業をしていた。交換する部分のボルトを外していたとき、不安定となったボルトが倒れてきて鼻に当たった。	40	4	521	10 ~ 29
2	2017	12	14~15	車両の荷台室内にて、保安基準の仕切りパイプを取り付け中、鉄パイプがはね返り、右手の平に当たり、反動がきつく右腕が後にもっていかれ、右肩の関節に激痛がはしった。病院でMRIを撮ったところ、右肩関節の筋肉（すじ）が切れていた。	70	6	521	1~ 9
3	2017	12	7~8	工場敷地内で、構内移動用自転車で移動中、自転車のチェーンが外れバランスを崩し、左側に転倒した際、地面（コンクリート）に左膝を強打した。	39	3	362	30 ~ 49
4	2017	12	16~17	当社整備工場内にて、走行距離の確認のため、トラックのキャビンを上げた状態でコックピットにのぼり、確認作業が終わったため降りようとしたところ、足を滑らせ落下し、腰と左手首を痛めた。	58	1	221	30 ~ 49
5	2017	12	9~10	工場内作業場にて、車検整備中、エンジンルームに置き忘れたウェスがエンジン回転中のベルトに絡まり、取り除こうとして左手の中指を受傷した。	58	8	121	1~ 9
6	2017	12	11~12	砂利の駐車場で事故車両の積込作業中、事故車両と荷台スライドスペースを確認し後部アオリを下げようと積載車に戻る時、地面の凹凸が前日の雪で見えず、右足を着いた時に指先に	40	19	719	1~ 9

14	2017	10	15～ 16	タイヤ保管場所において、積み上げたタイヤに登り、車検用タイヤを検票していた。バランスを崩し、約1.5mの高さから下に置いてあったホイール上に落下し、背中を強打した。	66	1	414	10 ～ 29
15	2017	10	15～ 16	倉庫に置いてある部品に躓き転んだ。その際、手のつき方が悪かった。	57	2	521	1～ 9
16	2017	10	17～ 18	工場内で車を修理していた。後方に、後ろ向き状態で下がったところ、10cm程の段差があり、そこで左足を挫いた。	49	19	416	1～ 9
17	2017	10	18～ 19	整備工場の休憩室の戸締りをしようと、ドアを閉めたところ、入口前の段差で転倒し、右足首を痛めた。捻挫だと思い痛みを我慢して、そのまま帰宅したが、翌朝歩行困難となった。右足首を骨折していた。	56	2	418	10 ～ 29
18	2017	10	20～ 21	本社整備工場内で、修理前のトラックを作業場所に移動させるために後方から押しているときに、足を踏ん張って左足ふくらはぎの肉離れを起こした。	33	19	221	10 ～ 29
19	2017	10	18～ 19	車の足廻り（サスペンション）の分解作業中、スプリングを縮めるスプリングコンプレッサーが外れてしまい、工具と部品が自分の方へ飛んできて左手の小指、左眉にあたり、左手の小指を骨折、左眉に切り傷を負った。	26	4	319	30 ～ 49
20	2017	10	11～ 12	工場内において、スポット溶接の作業準備中、スポット溶接機のアーム部にスポットガンワイヤー掛けの為、持ち上げた際、腰を痛めた。	29	19	921	1～ 9
21	2017	10	15～ 16	当社工場駐車場にて作業車両の助手席に取り付けてあるシートカバーの取り外し作業中、シート下部の取り付け金具を外すため、シートの下部と床の間に手を入れ作業したところ、奥の見えない場所にあった鋭利なシートの部品に左手親指付け根付近をひっかけ切創した。	68	8	521	30 ～ 49
				工場外の洗車場、排水溝の修繕作業中に、電動カッターを使い				

22	2017	10	13～ 14	パイプを切断中、誤って左手（詳細下記※）を切り付け、負傷した。 ※左手内側、人差し指第1関節を深く切傷し、13針縫合、左手人差し指と中指の爪に傷、左手外側、中指の第1・第2関節間に切傷。	70	8	169	10 ～ 29
23	2017	10	13～ 14	当社工場内に於いて、修理車両のテールゲートのダンパー交換作業中、左側ダンパーを取り外した時、テールゲート（重量約50kg）が閉まり、ボディーとテールゲートの間に誤って右腕を挟まれ負傷したもの。 ※通常手順はテールゲートの落下を防止する工具を使用して行う作業だが、工具を使用せず手で支えて作業を行い、重さに耐えきれず挟まれた。	27	7	231	10 ～ 29
24	2017	9	13～ 14	駐車場にて、スペアタイヤ交換中、タイヤホイールナットが緩まず、力を加えた時、使用していた工具（レンチ）が一回転して、右手薬指にあたった、さほど痛みが無かった為、そのうち治るだろうと思い、放置していたら悪化した。	36	6	364	10 ～ 29
25	2017	9	13～ 14	自動車整備工場内で、自動車のルーフ面を磨くため脚立（高さ60cm）の上に乗ろうと1段目のステップに左足を掛けて右足を脚立の上に置いて上がろうとしたが、右足が脚立のふちに引っ掛かった。1度立つことが出来たがバランスを崩し地面に落下、右太もも部分を強打した。	66	1	371	50 ～ 99
26	2017	9	13～ 14	当社が受注した鳩よけネット取り付けの作業を1階ベランダで6尺脚立上から2段目まで登り行っていた。作業は昼過ぎから20分位後、天井付近に設置されているエアコン室外機にネットをかけている時、落下し、頭部を打ったものである。	32	1	371	500 ～ 999
27	2017	9	14～ 15	当社工場内、トラックの荷台に乗り、幌骨にライトチューブを巻く作業中、後ろを確認せずにトラックの荷台の上を後退し、閉めた状態だったリヤバッテリーに足が当たり、そのまま転落し、負傷した。	48	1	221	1～ 9
				コンバインの刃を新しいものに取り替えるために、コンバイン				

28	2017	9	13～ 14	からカッターを外し地面に置いて、新しい刃をインパクトドライバーで締める際、その刃を左手で押さえていたが少し緩み左手の甲を切傷した。	70	8	379	10 ～ 29
29	2017	9	11～ 12	車をリフトに上げ作業中、ミッションジャッキに角材をはめて移動した時にはずれて頭に落下した。頭と首を痛めた。	36	4	361	10 ～ 29
30	2017	8	17～ 18	工場内で、車輛整備のためドリルでボルトに穴をあけていたとき、誤ってドリルに指をとられてしまい、右手薬指を捻って骨折した。	35	19	921	1～ 9
31	2017	8	11～ 12	倉庫よりトラックタイヤの搬入作業中、タイヤのバランスを崩したため、自身の足にタイヤが当たり、足を折った。	49	5	391	10 ～ 29
32	2017	8	16～ 17	場外駐車場において室内カメラ取付作業時に、作業体勢不安定により、足掛け部から右最前部座席肘掛け部に転倒し、左肺部分をぶつけ、左肋骨6番目を骨折した。	69	2	921	50 ～ 99
33	2017	8	17～ 18	工場内で産廃の処理をしていたとき、エンジンを詰め込む作業中に右手親指を怪我した。	32	4	611	1～ 9
34	2017	8	9～ 10	工場内で、鋼材製板を二人で移動する作業において、クレーン等の免許無資格者が、台座に載せた350kgの鉄板を2.8tのクレーン操作で吊り下げ移動中、地上50cm位の位置で台座のバランスが崩れ、鉄板が滑り落ち、鉄板場を押さえていた被災者の両もも（ひざ上部）に当たり出血し、左脛と踝、右足甲を骨折した。	59	4	611	10 ～ 29
35	2017	8	11～ 12	自動車修理工場において、トラック荷台床材となる木材を切断加工中、木材を押さえていた左手の手袋が電動ノコギリ（携帯用丸鋸）の刃に巻き込まれ、左手を電動ノコギリで負傷した。	64	8	131	1～ 9
				当社自動車整備工場内で、整備員2人がトラックの点検をしてい				

36	2017	8	13~ 14	た。この内1人は運転席に座り、被災者であるもう1人はトラックの後ろに立っていた。運転席にいた整備員がバックライトの点検をするため何らかの操作（クラッチを踏んだギアを入れた、又はセルを回した等）をしたとき、トラックが急にバックしてきて、その後ろに立っていた被災者が後方に止まっていたトラックとの間に挟まれた。	42	7	221	10 ~ 29
37	2017	8	14~ 15	フォークリフト工場内の作業場において、ハンドリフトの修理中、ハンドリフトの向きを変えるときに指を挟んでしまった（右手中指、薬指）。90度に起こして作業後、右手指を本体とジャッキの上部の隙間に入れて挟んでしまったものである（本体を起したときにピストンが下降し、隙間が無くなる）。	44	7	362	1~ 9
38	2017	8	13~ 14	会社の車検整備工場内で、車検整備車両のタイヤを取り付けの際ホイールの穴に指を入れた状態でホイールを回した為、左手人差し指がブレーキキャリパーとホイールに挟まれ左手人差し指を負傷した。	31	7	231	10 ~ 29
39	2017	8	9~ 10	板金工場内でサイドバンパーに足をかけて、車両の荷台に置いていた部品を取り降りようとした所、左足がすべってバランスをくずして足首をひねったような形で着地し、骨折した。	65	3	221	30 ~ 49
40	2017	7	18~19	会社内で車を2Fへ乗上げるためのスロープの上を歩いていたところ、雨のため足が滑り、転倒し腰を強打した。その後痛みが酷くなった。	32	2	417	1~ 9
41	2017	7	17~18	トランスミッション取り付け時にミッションジャッキ上のミッションが落下してきたので、とっさに左手で支えたため左手を負傷。	33	4	521	1~ 9
42	2017	7	9~10	他店舗へ車両引取業務のために運転中、直進走行中に、右側道からトラックが割り込み、咄嗟に避けようと、左にハンドルを切ったが車両右側面後方に槽突され、街路樹にぶつかり、その衝撃で右半身、首を強く打ち、動けなくなり、救急搬送され	55	17	231	30 ~ 49

				た。				
43	2017	7	10~11	営業所に事故車を引き取りに行き事故車をセーフティローダーに積んだ後、荷台から降りる時、右足で着地した際に大きくバランスをくずし転倒、負傷する。	57	3	221	30 ~ 49
44	2017	7	12~13	洗車作業中に右ひじに痛みが出始め、徐々に洗車作業を行うことにより肘の痛みがひどくなり、業務による酷使により右ひじが上がりなくなった。	37	19	921	30 ~ 49
45	2017	7	9~10	整備休憩室につながっている旧洗車場の解体の際、まちがって足を天上板の薄い梁にかけて、板が折れて落ちた。	67	1	415	1~ 9
46	2017	7	15~16	被災者は、当社工場において、車を破砕するため、ニグラ（車を破砕する重機）に乗ろうとした際、キャタピラーに足をかけた時に誤って踏み外し、右膝を捻り右膝の関節を負傷したものである。	49	3	159	50 ~ 99
47	2017	6	10~11	工場内で車検整備中、左足周りのキングピンにサビがあり、キングピンを固定しているクサビボルトを取り外そうとしていたら、ボルトが固着していたため、電動ドリルを使い、ボルトを削り取る作業中、ドリルの刃が噛み込み、その反動で電動ドリル自体が逆転してしまい、握っていた左手が回されて指が離れなかった。そのため、指が曲がったままだったので折れしまった。	49	7	364	1~ 9
48	2017	6	9~10	弊社整備工場では車検作業中、制動装置の部品交換を行う際、低い位置での作業のため、腰に負担がかかり痛みが起きた。	28	19	921	30 ~ 49
49	2017	6	13~14	工場にてバスの屋根の塗装をしていた際、バランスを崩して落下し、左足の踵を負傷した。	57	1	231	1~ 9
50	2017	6	16~	路上で、シフト故障で走行出来ない車両をレッカー車にて搬送する為、故障車とレッカー車を連結する際、連結部に手を置き	19	7	221	10 ~

			17	たままの状態です連結スイッチを動かし、連結部に手を挟んでしまい、右中指と右示指を負傷した。（一人作業）					29
51	2017	6	10～ 11	倉庫内で車両の掃除をしている時に、梯子から落ちて左手首を負傷した。	44	1	371		1～ 9
52	2017	6	16～ 17	社内の作業場にて車両のファンベルトのゆるみの点検中、エンジン始動の合図が聞きとれず、クーラーベルト及びプーリに左手の指が接触し、中指と薬指の上部を負傷した。	70	7	121		10 ～ 29
53	2017	6	11～ 12	完成検査場にて、入庫車両をピット前にて、車台番号・エンジン型式を確認のため、エンジンカバーを外し、エンジンカバーを脇に置こうとした。エンジンカバーを持ち視界が不良状態であるにもかかわらず、ピットを跨ごうとして右足を踏み外し、ピットの縁に腰を強打し怪我を負った。	52	3	418		10 ～ 29
54	2017	6	15～ 16	当社駐車場内において、車両管理作業をしていた際、同僚とぶつかり、手に荷物を持っていたためバランスを崩し、転倒して受傷した。	53	2	911		1～ 9
55	2017	6	13～ 14	当社塗装工場にて、入社後より毎日集中的に塗装作業ばかりを繰り返し行っていた為、右手指・左肘等に痛みが出たものである。	42	19	391		1～ 9
56	2017	6	11～ 12	当社従業員は、本社2F工場にて作業中、床にあったコードに足を引っ掛け転倒した。その際に左手を強打し、骨折したものである。	73	2	351		1～ 9
57	2017	6	15～ 16	2棟ある現場で、作業場所を確認して移動中に、スロープを通らず土間から直接道路に降りようと、道路標識の支柱に手を添え降りた時に、左肩を脱臼した。	42	19	921		10 ～ 29
58	2017	5	14～ 15	自動車整備工場内で、圧入されているダイナをプーリーベアリング交換の為、プレス機にて取付作業時、中止めリングがあることを理解しておらず、そのことによりベアリングが抜けず、	63	4	154		10 ～

				通常50～100kN圧を300kNまでかけてプーリーごと破断し、弾き飛ばし、その破片が腹部内へ入った。				29
59	2017	5	13～ 14	事業所内で車の整備途中、車両を後ろから押している際に右肩にひどい激痛が走った。当日はそのまま仕事を行ったが、右肩の痛みは取れなかった。	52	19	921	1～ 9
60	2017	5	11～ 12	職場の修理工場内において、車のボディのゆがみを直すためパイプレンチで修正をしていた際、車の下からかなりの力で引っ張っていた時、腰の骨がずれて動けなくなってしまった。	55	19	364	1～ 9
61	2017	5	14～ 15	メタルソーの材料送り用コンベア上に丸鋼を設置し、天井クレーンを使用するためペダルスイッチを取ろうとした際、コンベア上の丸鋼が転がり足元に落下した。	18	4	521	100 ～ 299
62	2017	5	16～ 17	当社工場内においてセミトレーラーの車検作業中に、シャーシフレーム上で方向転換をした際にバランスを崩して後方に転倒し、尾骨を痛打した。	24	2	221	10 ～ 29
63	2017	5	17～ 18	工場内にてクラッチ（直径48センチ、厚さ10cm、重さ50kg位）を2人で持ち上げ、軽トラックへ搬入しようとした際に左肩から左前腕を負傷した。	62	19	121	10 ～ 29
64	2017	5	9～ 10	整備工場にて卓上ボール盤でアルミの板に穴をあける作業中、軍手をしていた右手でアルミ板の位置を修正しようとしたところ、誤ってドリルに触れ、軍手が右手の指ごと巻き込まれた。	18	7	152	50 ～ 99
65	2017	5	7～8	会社構内において原木積込途中のトレーラーから整備従業員が車両整備のためトレーラーヘッドを切り離すため、トレーラーレースのアウトリガー（ジャッキ）を降ろす作業中、トレーラーレースの左側上部から固定前の原木が落下し、従業員の背面に直撃し転倒し、背骨の一部を骨折した。	66	4	522	10 ～ 29
66	2017	5	9～ 10	工場内でトラックの修理をするため、あおりのヒンジに注油をし、締める時に誤って指を挟んだ。	53	7	221	1～ 9

67	2017	5	15～ 16	会社の工場内で普通貨物（4tユニック）車検整備中に運転席より手を滑らせてコンクリートの床に後ろ向きに転落し頭と背中を打ち（ヘルメットなし）、一瞬気を失うもすぐに気付き、動いていたなら両手にしびれが出てきた。	47	1	221	1～ 9
68	2017	4	14～ 15	工場内作業場でデフ分解作業中、プロペラシャフトを降ろす際にあやまって落としてしまい、左親指に当たり切れた。	58	4	521	1～ 9
69	2017	4	11～ 12	工場内で作業中、段差のあるところをまたいでバランスを崩し、ねじって足をついた際に激痛とともに腫れが生じ、左足靭帯断裂を負った。	23	19	416	10 ～ 29
70	2017	4	12～ 13	職場からリコール車を積載車に乗せて搬送し、駐車場で荷台に乗せた車から書類を取り出し荷台から降りる際、積載車の足掛けに右足を掛けたつもりが誤って右足を滑らせ、その瞬間に痛みが走り右足を負傷した。何とか職場に帰り、軽作業をこなしていたが、痛みがひどくなった。	50	19	221	1～ 9
71	2017	4	9～ 10	当社第二工場でフックロール車の昇降不良整備のため本人と同僚の2名で動作確認をしていた。同僚は昇降ボタンを操作して、本人は昇降動作の確認のため摺動部分にあるセンサーに左手を当てていた。同僚が声がけをし同意を得ているものと思い込み、フックロールを作動させたところ、本人の左手が上下に作動するレバーに挟まり、左手中指と薬指を負傷した。	64	7	221	10 ～ 29
72	2017	4	9～ 10	工場内において、オイルもれ修理の点検車両をリフトで1.5m程度に上げ、高さ2mの脚立で運転席に登り作業し、降りようとしたところバランスを崩して落下した。	51	1	371	1～ 9
73	2017	4	13～ 14	自社店内で、お客様からお預かりしているオートバイのエンジンをかける際、キックペダルの跳ね返りによって足を強打し、足首全体（特に足の甲）が大きく腫れた。	48	6	231	1～ 9
				社内工場内で整備者A、整備者B（被災者）とで大型トラックのトラニオンのピン脱着作業中、ピンの先に整備者Bが大ハンマー				

74	2017	4	13~14	の頭部分をあて、整備者Aがその頭部分を別の大ハンマーで打ち込みしていたとき、整備者Aのハンマーの頭部分が柄からはずれ、トラックの荷台の床板とフレームにはねかえりながら整備者Bの右顔面に当たった。	46	4	364	1~9
75	2017	3	13~14	調色中、調色室より手に荷物を持って工場への通路に有るドアより工場へ出ようとした際に、ドアの下部の段差は承知していたが荷物を持っていた為に足元が見えず、思ったより足が上がっておらず、体の左側より転倒した。	47	2	419	1~9
76	2017	3	17~18	工場内にて溶接作業中、脚立に乗って作業していた際、足を踏み外し転落し、後ろにあった製品に頭を打撲した。	56	1	371	10~29
77	2017	3	15~16	当社自動車整備工場内において、整備のため2tトラックの荷台に乗って作業をしていた。荷台から地面に降りようとしたところ、誤って足を滑らせ、地面に着地した際、右足首を捻って負傷した。	51	1	221	1~9
78	2017	3	11~12	積載車に車輛を積み込む作業をしている際、荷台に登り車輛固定をしていたところ、誤って荷台上の段差につまずき、荷台より落下し、アスファルトの地面に右手をつき右腕を負傷した。	32	1	221	30~49
79	2017	3	15~16	週に2回程度、シリンダーヘッドの全数検査業務があり、当日の検査作業を開始して間もなくシリンダーヘッド（約13kg）を持ち上げた瞬間、背中に痛みを感じたのでその日は早退をし安静にしていたが、翌日になっても痛みがとれず、胸椎・腰椎捻挫と診断された。	19	19	521	500~999
80	2017	3	18~19	車検の整備工場内で車両整備のため、工具を使用しエンジン側面のボルトを外す作業中、狭いところに無理な体勢で手を入れようとしたため、右手首を捻り捻挫した。	23	19	521	30~49
				職場敷地内において、積載車に車を積み込みしたあとに、荷台				1~

81	2017	3	15~16	から降りようとして積載車のあおりに足が引っかかってしまい、地面に着地した際に右足くるぶしをついた。	56	3	221	9
82	2017	2	13~14	事業場整備工場内で被災者が作業中、工場内高所の物品（道具）を取るために脚立を使用し取り終え飛び降りた。降りた際両足で着地し、右足底部に痛みと違和感が生じ座り込んだまま立つ事が出来なくなっているところを事業場専務が発見し病院へ搬送し付き添った。	45	3	371	1~9
83	2017	2	14~15	自動車整備の為、車両を運転して道路を走行していた。交差点で前方の車両が赤信号の為停車した。本人の車両は停車をせず、前方の車両に追突した。本人は全身打撲と胸骨骨折をした。前方の車両は完全に停車していた為、前方の車両に過失はないものと思われる。	18	17	231	50~99
84	2017	2	13~14	納車する車のフロアーマットを屈んでエアブローをしていた時に、当社社員が塗装作業中の車を移動させる為バックをした時に屈んで車の後ろで作業していた被災者に気付かずに衝突し、転倒し右膝部分を打撲した。別作業をしていた者が車を叩いて止めさせた。	61	6	231	1~9
85	2017	2	13~14	バスへ脚立をかけて作業していたところ、わめき声が聞こえたので行くと被災者が倒れていた。	42	1	413	10~29
86	2017	2	14~15	弊社工場内において、大型トレーラーのマキシチャンバブレーキのエア漏れ修理を行っていた際、エアホースよりエア漏れが生じた。その際右手でマキシチャンバーを保持しており、マキシチャンバーに薬指を挟まれ骨折したものである。	68	7	221	30~49
87	2017	2	9~10	3人で軽トラックの荷台に鉄くず（車ドア）を積み込んでいたところ、その積荷が予定外に傾きだし、それらに押される状態となった。その際に左足ふくらはぎを荷台あおりと鉄くずに挟まれて左足を受傷した。	67	7	521	10~29

88	2017	2	14~15	工場内にて、走行中の異音が発生する車両（普通乗用車）の現象確認をするために車両をジャッキアップしリジットラックにて車両4輪を支え、リフトアップした状態で寝板を使用し、車両下側に入り点検作業中、可動しているプロペラシャフトに被災者が着用しているダウンジャケットが挟まり左腕部が巻き込まれる状態になり負傷したものである。	62	7	231	30 ~ 49
89	2017	2	11~12	当社工場においてトラックのタイヤを外す作業中、なかなか外れずに力いっぱい引き抜いた際に体が持っていかれ足をひねってしまい右足首を痛めたものである。	31	19	221	1~ 9
90	2017	2	13~14	工場敷地内で薪ストーブの薪割りをしていた際、高速切断機に左手を引っ掛けてしまい、左手中指と左手薬指に損傷を負った。	31	8	131	1~ 9
91	2017	2	9~10	自動車整備作業における、ワイヤーブラシで研磨中に、ワイヤーの背が飛び、左眼に刺さった。ゴーグルを着用せず、作業したもので、対策が不十分であった。	54	4	153	10 ~ 29
92	2017	1	11~12	普通ステーションワゴン車の塗装済みスライドドアを、取付車両横の仮置台まで4人で運んでいた時、車検の為にはずしていたフロントタイヤの一部が、車検・整備区域をはみ出して置かれていた。被災者はタイヤが置かれていた事を認知しておらず、又4人で運んでいた為、後ろの安全をよく確認出来なかった。被災者は、タイヤにつまずいた時点で急に止まる事が出来ず、4人で運んでいた勢いもあり、タイヤに尻もちをつくように倒れた。その時運んでいたスライドドアを傷つけない様にかばった為に右肩の腱を断裂した。	61	2	417	1~ 9
93	2017	1	15~16	整備車輛を積載車輛（レッカー）で搬送し、搭載していた車を降ろす作業にて、被災者が搭載車にフックがかかったワイヤーを左手で弛みをとるため、引っ張っていたとき、その動作に気がつかず同行者が搭載車のブレーキを解除して車が下がり、ワ	66	7	221	10 ~

				イヤーに引っ張られ、荷台右角の滑車に左手を挟み中指第一関節と人差し指先端を切断した。				29
94	2017	1	11～ 12	鈹金修理で入庫の車両右ドアのメッキパネルをカッターで剥がす作業をしていて、手元に力を入れ過ぎて滑り、左手小指を切ってしまった。	32	8	364	10 ～ 29
95	2017	1	14～ 15	ピットにて軽トラックのファントバンパーを取り替えている時に足をすべらせ落下した（深さ約1.5m）。	24	1	414	10 ～ 29
96	2017	1	10～ 11	大型車両の後タイヤ脱着作業中、大型エアツールを使用する為、アタッチメントを交換する時、スイッチが地面に当たるような形で交換した為、スイッチが入ってしまい、エアツールが回転してしまった。その時、アタッチメントはずれ防止のピンが手に当たり、損傷してしまった。	42	4	169	—
97	2017	1	18～ 19	自動車は側道より右折しようとした所、右側から来た車両と衝突した。自社のレンタカーを引き取りに行き帰社する途中での事故である。	29	17	231	1～ 9
98	2017	1	19～ 20	工事内で、フレーム修正機で作業中に誤ってジャッキのスイッチを押してしまい、車が下がり、頭を挟んだ。	30	7	169	30 ～ 49
99	2017	1	15～ 16	工場内1階で車輛の修理中、酒用ケースを踏み台として使用していたとき、酒用ケースの上でバランスをくずし、前のめりにズリ落ちた。その際、ステップとステップガード板に首が直角状態になり、頸部を捻挫した。	63	1	379	1～ 9
100	2017	1	14～ 15	左足を軽トラックの荷台に載せ、右足をフロアにつけた状態で作業をしていたが、工具箱がフロアに着地した直後、身体の痛み（主に両手のしびれ）を感じ、倒れ込んでしまった。しばらく様子を見たが症状が改善されず、脊髄に損傷が見られ、状況	27	19	611	30 ～ 49

によっては手術を要することになった。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。